

令和7年度はなぞの保育園自己評価

令和7度保育において良くできたと思うこと（努力したこと）

- ・子どもたちの主体性を大切にしながら、関わることを意識した。
- ・子どもの様子（どのように接したら落ち着くか等）を日々記録し、その子に合った対応ができるようにした。
- ・保護者と連携をとりながら、トイレトレーニングや食事のスプーンの持ち方など個々の発達段階に合わせて支援することが出来た。
- ・子どもの気持ちに寄り添い、安心して過ごせる環境を作り、興味や関心を把握し、発達に合わせて遊びを提供するようにした。
- ・子どもたちへの言葉掛けは、禁止する言葉ではなく、「○○しようね」「○○できるね」等の肯定的な言葉掛けをすることを意識した。
- ・（栄養士）給食を作る際は、年齢に応じ、食材の固さ、大きさに配慮した。
- ・子どもたちに食べることの楽しさを知ってもらうために、盛り付けを工夫したり、食事中に声をかけたりして、楽しい雰囲気の間になるようにした。

令和7年度保育においてこれからの課題と思ったこと

- ・子ども一人ひとりの思いやりや成長に寄り添いながら、子ども自身が主体的に遊びや活動に取り組める環境作りを大切にしたい。
- ・大きな行事だけでなく、日々の活動や自由遊びも充実させ、意欲的に取り組み、子ども同士お互いの気持ちを理解し合えるように、見守り関わっていききたい。
- ・子どもの発達に応じた関わりや遊びの工夫を行い、安心して過ごせる環境作りに努めていききたい。
- ・玩具の準備をしたり、粗大遊びを充実させたり、保育室のレイアウトを考えていく。
- ・子どもだけではなく、保護者とも信頼関係を築きながら、保護者対応も学んでいききたい。
- ・（栄養士）食物アレルギー児がいるので、調理、配膳時に、除去食、代替食であることを明確にして、園全体での情報交換を徹底して行っていく。
- ・害虫が給食室に入らないように清掃をしっかりする。

総評

- ・子ども一人ひとりの思いや発達に寄り添いながら、安心して過ごせる環境作りに努める事ができた。
- ・日々の保育の中で、子ども主体的に遊びや活動に取り組めるよう関わりを工夫し、保護者との連携を大切にしながら支援を行うことができた。
- ・保育をしていく中で、気付いたことをお互い言い合える関係を作り、心配事もみんなで解決できる環境を作っていく。
- ・今後も職員間で連携をとりながら、保育が充実するように引き続き努力をしていく。

（自己評価は、保育士、栄養士、看護師を含む）